

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念はありますが、地域の中での取り組みが難しい様に思われます。	○	運営推進会議にて区長さんの案、子供会、ボランティアの方に来て頂けるに様にしていきたい。
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員と常に共有し、話し合い、判断し取り組み努力している。	○	時として意見相違の場合ミーティングを開いている。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議を行なっていますが、参加者が少ないのが悩みです。	○	時の話題を取り上げたり家族の方が参加しやすい話題作りに取り組んでいく。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	立地的に町から離れていて、近隣に住宅や商店がない為、なかなか難しいです。	○	職員は隣の工場の方たちに挨拶することから、心掛けていき、日常的な付き合いに取り組む。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の敬老会の招待等お知らせは頂ける関係。入居者の方自身、馴染みがない場所なので、不安に感じお断りしている。		

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	常に新しい発見があれば、話し合い実施するよう取り組んでいる。	○	研修、養成講座、市役所よりの情報を通じて、具体的に何ができるか、相談していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価表を各職員が取り組み自分達の反省点や、求められている事の確認、また自由に提案できる機会になる様、努めている。	○	義務的、事務的ではなく気づきの機会である事を周知していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告は実施。活かして向上は難しい。	○	報告はわかりやすくする。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村へは計画作成担当者が伺い、情報交換しています。	○	市町村より、発行されている研修等、より多く参加し、質の向上に努めている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度を必要とされる利用者の方が現在なく、職員は学ぶ機会を持つよう、努める。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者等からの情報を共有し、虐待防止に努める。	○	定期的にミーティングを開き、反省点など勉強していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	担当者が説明し、対応できていると思います。	○	わかりやすく、かつ安心して頂けているか確認をとる。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設け不満、苦情に耳を傾け、速やかに対応している。その内容は家族へ報告しています。	○	苦情等あった時、社内にて会議を設けて、速やかに取り組んでいる。(利用者様の意見は優先する)
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	全職員が、暮らしぶり、健康状態を把握し速やかに対応し、家族に報告するよう努めています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今回協力医が変わり、家族の方に報告しました。運営推進会議の時に家族から出た意見を先生に話をし、外部者へ表す機会が出来つつあります。	○	事業所としては、何でも言って頂ける様常日頃伝えているが、ご家族が遠慮されながら話された事を表に出して、しっかり対応していく事に取り組みたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見を聞く機会を作っている。各館ごとにミーティングを設けている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	全職員と相談し決めている。		

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	H20年4月に職員の異動があり、利用者様に変化ご迷惑をお掛けしました。運営者と現場職員との温度差あり。	○	現場の声を（実情）を伝えていきたい。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じて、法人内での異動現場研修、外部の研修に取り組んでいる。	○	外部研修参加を行なう。 職場内において異動研修を行なう。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	担当者が支部会に積極的に参加している。また情報をレポートにて提出し共有している。参加については、管理者、介護支援専門員がしている。	○	交流会等に参加した後でレポート提出するので、共有できるが、現場のスタッフも参加できる会には、参加できるようにしたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は話を聞き対応して頂いている。ストレス軽減、休憩室設置されている。	○	1人1人との対話の時間を設け、問題が起きる前に、現場の声を聞いて頂きたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務表の確認を行ない、時折現場を訪れ、助言、相談等行ない、その都度速やかに対応されている。	○	各部外の言動が多々見られ、職員のストレスとならぬ様取り組みたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	緊急での相談が多く、行く所がない等の切実なケースが多い。不安などお聞きし、受け止める努力をしている。	○	ご本人の思い、困っている事等ゆっくり傾聴する。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	直接面接、電話での対応をしている。	○	電話での問い合わせ等に速やかに対応できる様にする。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事業所として出来る限りの対応に努めている。	○	話を傾聴し、本人、家族の意向を確認し、何が必要か見極めれる様努力する。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の方と相談しながら努力しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ADL低下を防ぐ為、できる事はやって頂いてます。介護度が違う為難しいが努力している。	○	活き活きと生活できる様、体操、歌等できる事をして頂く。常にわかりあえる努力をする。

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご本人と家族の関係が、感情で向き合えない家族も見え、家族の方には安心して生活をして頂き、利用者には穏やかに生活できる環境作りに努める。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の関係は大変難しく、立ち入らず様子を見ながら、利用者様の穏やかな生活を見て頂き、安心してもらうこと対応し努力する。	○	利用者様の生活状況等を報告し、ご家族とコミュニケーションを図る様努力する。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人来所の場合、家族と同様に接し、お茶等でもてなし安心して頂く。よかれと思っても、ご本人が混乱され不穏になられる場合もあり、難しいが慎重に対応していく。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	生活歴も、育った環境も違う方達なので、時にはトラブルもありますが、大事にならぬ様、対応する。孤立されないようにコミュニケーションを図る様努める。	○	利用者様の方との会話をしつつ、話の輪を広げる努力をする。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	在宅のケアマネージャーさんにその後の様子を伺いながら、必要に応じて対応する。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1人1人の希望を受け止めながら、把握が困難な時はその人の視点に立って思いを汲み取るよう努めている。	○	ミーティングを活用し、職員が情報を共有し、ケアの向上に努める。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	毎日の生活の中で、又家族の方との関わりの中で、情報が得られて、生活環境を把握し、ケアに努める。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々実行している。個人記録に記入し、心身状態の変化等発生した時は、連絡ノートや申し送りにて速やかに報告している。	○	心身状態の変化等発生した場合速やかにミーティングにて改善するよう努めている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	計画作成担当者が、ご本人、家族の要望等伺い作成している。	○	スタッフ一同が共有し、ケアを実行する。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ミーティングにおいても、日々のケアに置いても、見直しを実施している。	○	変化があれば、ミーティングまたは、申し送りで意見交換していく。

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実施している。スタッフ全員が個人記録、連絡ノートにて情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個々の生活環境を把握し、要望に応じる様努めています。	○	買い物、通院、散歩、美容院等、ご本人の楽しみ、要望に応じる様努めています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	難しいと感じている。年1回ボランティア演芸、市の中学校の生徒さんの職場体験の受け入れ。	○	ボランティア等ホームから働きかけを行なう。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	希望があれば支援していく思いはあります。今のところはないです。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議での情報交換の段階。		

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	実施している。協力医の月2回の往診また、今までの病気のつながりで、他の病院への通院もされ情報を共有している。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医の先生が認知症専門なので、相談できる関係を築いている。	○	家族の方に往診時の様子等報告し協力医のさんとの情報を共有していきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職との連携はとれていて、健康管理できている。	○	各部の専門性を大切にし、利用者様に何に重点を置くかを職域を越えて取り組める関係作り。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院に面会に行き、家族の方始め、関係者に働きかけている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族、協力医、ホームの3者にて緊急時の対応について方針を共有している。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	チームでの支援に取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	情報交換、提供し努めている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	日常的に気をつけている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	思いや希望に沿うように、話しやすい関係づくりに努めています。	○	自己決定が困難な方も、ご本人、家族、職員と話し合い相談して、支援するよう努力する。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	極力沿うように努めています。 対応困難な場合、法人、家族の方に相談して、対応している。	○	フリーシフトを上手く活用し、対応していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	美容院へ行って見える方も見えます。身だしなみに気をつけ、好みの服、汚れた服等着替えるように努めています。	○	ボランティアの方に入って頂いたり、得意なスタッフが行なうこともある。

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	常日頃より利用者様の好みを知るよう努め、バランスの摂れた食事を提供する。テーブル拭き、お盆並べ等行なっている。	○	キッチンが狭く、一緒に調理することが困難な為、食堂で出来る料理の手伝い、準備、後片付けが出来るよう努める。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	スタッフ人数に余裕がある時、共に買い物に出かけている。	○	お酒を召し上がる方が見えないが、お正月のお屠蘇等、少量ならどうかと考えていきたい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄記録の記入をし、それぞれの利用者様の排泄パターンを把握し、声かけ誘導している。	○	日中は、全員トイレで排泄できる様に、支援している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間の選択は出来ないが、入浴する、しない、入る順序の選択は自己決定して頂いている。	○	ご本人が拒否される時は、無理強いせず、時間を置いて誘導したりしている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	それぞれの利用者様の体調を見ながら、居室での休息を勧める。部屋の環境整備を行なっています。	○	夜間良眠が出来るように努めます。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人に合った役割分担を行い洗濯干し、取り込みたたみ、掃除等気持ちよくやって頂ける様に、声かけしている。	○	ドライブ、体操、散歩、草取り等気分転換が図れるような支援を考え実行できる様に努めます。

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お1人の方が所持して見えますが、管理がしっかり出来なく、ご本人より預かり、ホームにて管理。買い物時等必要に応じ使って見えます。(買い物はスタッフ同行)	○	何事も家族に報告し相談している。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	可能な限り散歩やお買い物に出かける。	○	中庭に出て気分転換を図って頂く。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	去年は花フェスタ(可児)へ行き、綺麗な花を見て、楽しめたと思います。	○	現実には、帰宅後のケアが大変であったが、取り組むよう努める。 ドライブの回数を増やしていく。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望で電話される事あり。 手紙のやり取りは、誰もされない。	○	電話については、ご家族の了解を得て、行なっている。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	玄関の鍵はかかっておらず、いつでも気軽に訪問して頂ける様努めています。	○	スタッフにも気軽に声かけして頂ける様努めます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束しないケアに取り組んでいる。	○	話し合い、ミーティングを行い、拘束しないケアに取り組む。

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関はチャイムにより、出入りがわかるようにしており、可能な限り一緒に出かけるようにしている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員の目の届かない場所(廊下)にモニターを設置。	○	チームケアである事を周知し、動く様にしたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険と思われる様な物は、目の届かない所に保管し、必要な時には、スタッフ見守りの中で使用して頂く。	○	運営推進会議で家族や地域の方の意見も聞いてみる。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	1人1人の身体機能等把握し、声かけ、見守りをする必要がある。	○	ヒヤリハットや事故報告等、周知徹底していく。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	電話をかける時、目の付きやすい場所に、連絡手順が書いて貼ってあり、パニックを起こさないようにしている。	○	法人への連絡が付かない時があり、早く連絡できる様にする。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年は法人で火災訓練を行ないました。周りに民家がなく、地域の協力までは、働きかけていない。	○	避難訓練は続けていく。優先順位をどのようにするか話し合う。

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会に見えた時等に、利用者様の状態を、家族に伝える。	○	現場のスタッフは、日々の記録やミーティングで、リスクについて考え、共有する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝ご利用者様を見たとき、前日との相違がないか、入浴時の体調の変化はないか、注意して見る。	○	実施しています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の間違いないように、個人の名前、薬の量等良く確認し利用者様に手渡しする。	○	手渡した後きちんと飲んでいるか確認をする。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄の記録を確認し、便秘薬が処方されている方には看護師と相談し、服薬して頂く。水分補給をして頂き、食材、調理法に気をつける。	○	排便記録を確認し、異常があれば看護師に相談する。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎日実施するよう努めているが利用者様の拒否などのより実施出来ない時もある。	○	毎日の習慣としてできる様にしていく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人1人の好みに応じ提供できる限り提供する。	○	一汁3菜が提供できる様に、1人1人の量にも配慮している。

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	法人全体で周知し、速やかに対応するようにしている。	○	手洗い、うがいの実行を徹底する。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材管理は法人から厳重に注意があり守っています。食中毒予防は市から連絡があり、管理に努めています。	○	賞味期限や、食材の買いすぎに注意する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	車いすの方でも安心して外に出れるようにスロープを配置したり、溝のフタを取替えつまずき防止している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関前のトイレは家族の方にも良く見える場所にあり、不快感をなくす様、臭い等配慮、努力している。	○	下水道が完備されておらず、汚臭の改善、換気扇の設置をした。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間が狭いので大変ですが、居室にて有効利用してもらっている。	○	利用者様同士が気の合った方との語らいの時を持って頂く。

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	本人の好みの物を活かす努力はしています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大 きな差がないよう配慮し、利用者の状況に 応じてこまめに行っている	窓の開け閉め、エアコンの利用。カーテン等 を使用し調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	安全に歩行、立位保持ができる様に、廊下、 トイレ、浴室等に手摺を設置しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよう に工夫している	自分でできる事は、やって頂くよう声 かけ働きかけています。	○	ミーティングにて、スタッフが同じ 思い（理念）で接するようにする。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が 楽しんで、活動できるように活かして いる	スタッフが花等植え、庭に出る楽し みとなっています。夏にはとうもろ こしを育て、収穫する楽しみもあ りました。	○	建物の周りは坂が多いが、安心 して外を歩けるよう段差を少なく する。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホームファミリー (2号館)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 家族の方との信頼関係に取り組み、入居者さんのケアに努めたい。
- ・ H20年7月から神経内科の協力医に変わり、2週間に1度往診に来てくださり、入居者さんの健康管理が出来る。
- ・ ホームでの問題点、設備、不具合点、速やかに対応して頂ける。
- ・ スタッフのフリーシフトの導入により、今まで出来なかった事等（有給休暇、研修参加、入居者さんと外出）対応できるようになった。